

姫路市入札監視会議 議事概要（平成28年度第1回）

1 日時

平成28年8月25日（木） 午後3時から午後4時20分まで

2 場所

姫路市役所 東館3階 東301会議室

3 出席者

（委員）市川委員長 秋本委員 永井委員 井上委員

（姫路市）山田財政局長 福間財務部長 三河契約課長 他契約課2名

4 概要

(1) 建設工事発注状況等の説明

平成28年1月1日から平成28年6月30日までの間の入札及び契約手続の運用状況並びに制度改正等について事務局から報告

<制度改正の概要>

ア 「競争入札の参加者の格付け基準等について」（平成28年4月1日改正）

原則は格付けされたランクに対応する発注標準金額の範囲内の契約に関して競争入札に参加する資格を有するが、特殊な場合において、発注標準金額の範囲外の契約に関しても競争入札に参加する資格を有するという規定がないため、これを追加するもの。

イ 「姫路市建設工事等入札参加者選定要綱」（平成28年4月1日改正）

「競争入札の参加者の格付け基準等について」の改正に伴い、関係条項を改正する。

ウ 「姫路市契約規則等に規定する書類の様式に関する要綱」（平成28年4月1日改正）

(1) 公共工事標準請負契約約款にあわせて、現場代理人に対しては発注者のみが措置請求できるように改正する。

(2) 政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項に規定する政府契約の支払遅延に対する遅延利息の率が平成28年4月1日から改正されることに伴い、契約解除に伴う前払金の返還に対する利息の率を改正する。

(3) 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の改正に伴い、関係条項を改正する。

エ 「姫路市契約規則」(平成28年7月1日改正)

地方自治法施行規則の改正に伴い、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに、新たに請負契約を締結する工事に係る前払金で、平成29年3月31日までに払出しが行われるものについて、一定の範囲内で当該工事の現場管理費及び一般管理費等にも使用できるように用途を拡大するもの。

オ 「姫路市契約規則等に規定する書類の様式に関する要綱」(平成28年7月1日改正)

「姫路市契約規則」の改正に伴い、関係条項を改正する。

【主な質問・意見】

委員： 以前は制限付一般競争入札より指名競争入札のほうが落札率は高かったと思うが、今回は制限付一般競争入札の中に総合評価落札方式の案件が含まれていたために、落札率が高くなったのか。

事務局： 抽出期間により変動するが、指名競争入札の落札率のほうが高い傾向であった。会議資料の落札率には、契約金額の合計を予定価格の合計で割る加重平均を用いているため、金額の大きい案件の落札率の影響を大きく受ける。制限付一般競争入札の中に大型案件があり、その落札率が高かったため、制限付一般競争入札の落札率も高くなった。

(2) 審議対象工事の抽出結果の報告

審議対象工事の抽出を行う委員に指定されていた永井委員から、抽出結果を報告

<抽出の概要>

- ・ 入札方式別に審議対象工事を無作為に抽出
- ・ 制限付一般競争入札(総合評価)については、全3件中1件を抽出
- ・ 制限付一般競争入札(価格競争)については、全64件中2件を抽出
(内訳：土木・鋼構造・ほ装工事から1件、建築・その他工事から1件)
- ・ 指名競争入札について、全110件中4件を抽出
(内訳：土木・鋼構造・ほ装工事から3件、建築・その他工事から1件)

(3) 抽出工事の説明及び審議

抽出された工事について審議

ア 制限付一般競争入札（総合評価）

姫路市立白鳥小学校水泳プール改築（建築）工事

【主な質問・意見】

委員： 参加資格にある平均実績要件は公表しているのか。平均実績要件から最低制限価格を類推できないか。

事務局： 参加資格の平均実績要件は個別の公告で設定し公表している。
この案件では、平均実績要件と最低制限価格が偶然近い金額となったが、市の発注方法としては、制限付一般競争入札については、全ての工事で平均実績要件を設定している。1千万円以上の案件を一般競争入札としており、発注金額に応じて平均実績要件を変えているが、同じ平均実績要件とする発注金額にはかなり幅があるため、最低制限価格そのものの類推はできない。

委員： 総合評価落札方式は、工事施工後の出来具合ではなく、施工過程を評価する制度か。総合評価落札方式を採用したことにより、検査で高い評価を得られるのか。

事務局： 検査では設計書通りの施工かどうかを確認し、総合評価落札方式の場合は、提案が評価された上での落札であるため、この提案内容の実施は必須となり、提案内容が実施されていない場合には、担保として工事成績を減点するという取扱をしている。総合評価落札方式で提案が評価されたことのみにより、工事成績が良くなるわけではない。

委員： 総合評価落札方式を適用したのに、一番評価点の低い業者が、金額が安いことにより落札業者となったのか。

事務局： 評価点を入札価格で除した数値が評価値で、評価値が一番大きい者が落札候補者となる。この除算方式では、品質と価格を総合的に勘案することになり、そのバランスで結果が決まる。

委員： （各評価項目の得点の合計である）加算点の上限はあるのか。標準点と加算点の割合を変えれば結果は違ったのではないか。

事務局： 加算点の上限は決まっていないが、国土交通省の総合評価落札方式の運用ガイドラインにおいて、標準的な設定は定められている。

委員： 16点の内、安全管理と施工管理が各5点で高いウエイトを占めている。安全管理や施工管理は定型的な提案内容となってくるため、より品質を高めるような項目にウエイトをおくべきではないか。

事務局： かなり難易度が高い工事の場合には、技術的な施工方法まで提案させる総合評価の方式も採用できるが、市では、難易度の高い工事が少ないため、設計書に定められた中での評価項目の設定となる。提案内容も同じ内容になりがちであるが、案件ごとに工事の内容に応じて評価項目の検討をしている。特殊な施工内容、施工環境や場所の工事の場合には、より具体的な評価項目も設定できると考えている。

今回の案件では、一般的な評価項目となっているが、企業の能力等の配点があまり大きくならないように、工夫やアイデアを活かせる項目と同じくらいの配点バランスになるように意識している。

委員： DBO 方式を採用する基準は金額か。この案件は対象にならないのか。

事務局： DBO 方式は設計と施工に加えて運営も一括して発注するため、長期的に施設運営する場合には、DBO 方式が適切な場合がある。学校のプールや施設は趣旨が違う。

委員： もっと安いデザインを提案させるなど、デザインの提案も含めて発注してはどうか。

事務局： 設計施工一括発注方式やデザイン重視で相手に提案させるプロポーザル方式も実施例はあるが、学校の施設については適さないと考える。

イ 制限付一般競争入札（価格競争）

①汐入川才西川放水路準幹線雨水管渠他下水道工事

【主な質問・意見】

委員： この工事では、千円単位まで最低制限価格を算出できるのか。

事務局： 公共工事、特に土木工事については、兵庫県が公表している積算基準と材料の単価を姫路市でも使用している。また、入札時には、金額を抜いた設計書を入札の際に提示し、最低制限価格の算定式も公表している。姫路市の過去の入札の情報公開や公表されている情報を収集し活用することにより、計算上は最低制限価格の算出が可能と思われる。

委員： くじによる抽選で外れた者が、翌年の工事成績等で優遇される等の措置はないのか。

事務局： ない。地方自治法に同額の時はくじで決定するという規定があ

るため、電子入札では電子くじで、通常の紙入札では紙でくじ引きして決定している。

②中部処理場第5系列最終沈殿池改築（電気設備）工事

【主な質問・意見】

特になし

ウ 指名競争入札

①家島12号線道路改良工事

【主な質問・意見】

委員： 最低制限価格未満で無効の業者が多いのはなぜか。

事務局： 積算基準や単価、最低制限価格の算定式を公表しており、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費の4項目に分けて積み上げていき、最低制限価格の算定式に当てはめると最低制限価格を計算できるが、業者によっては積算能力に差があるため、違いがでる。

最低制限価格未満で無効になっている業者が、実際に施工できる金額を入札したのか、どういう経緯でこの金額を入札したのかはわからない。

委員： 地元の業者のみが最低制限価格未満で無効となっているが、地元なら安く施工できるということではないのか。

事務局： 姫路市の最低制限価格の算定式は兵庫県の算定式と同じ基準で、姫路市の算定式の水準だけが高いわけではない。業者が実際に施工できる金額で安価を競うのを放置したことが、ダンピングの助長や下請圧迫をまねき、若者が建設業に入職しないという悪循環を生んできた。国も建設業の担い手不足解消とダンピング防止の観点から、施策として最低制限価格を設定すべきとし、最低制限価格の水準を下げないという方向性になっている。

②（北部）置塩192号線道路整備工事

【主な質問・意見】

委員： 最低制限価格未満で無効の業者が多いが、金額が小さければ積算の誤差も小さくなるのではないか。

事務局： 非公表の単価等もあり、その部分で業者の考え方や単価により差がでる場合がある。

③砥堀 13 号線道路補修工事

【主な質問・意見】

特になし

④桜山公園植栽工事

【主な質問・意見】

委員： 施工後の維持管理も一括にした発注はできないか。

事務局： 施工後の維持管理業務も含めた工事発注は今までしていない。
工事施工業者の樹木保険加入を条件とした案件や工事施工後に維持管理業務委託を別に発注している案件、地域住民に維持管理してもらうアダプト制度を活用した案件はある。

(4) 入札参加資格制限の措置状況

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までの入札参加資格制限措置の状況について、事務局から報告（措置業者なし）

【主な質問・意見】

特になし

(5) 指名停止の措置状況

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までに指名停止措置を行った延 19 者について、事務局から報告

【主な質問・意見】

委員： 検査結果が悪かったために指名停止となったということか。

事務局： そのとおりである。設計書通りの施工ができず工事成績が悪かったため、ペナルティ的な措置として指名停止とした。指名停止期間は、指名競争入札の指名をしないと同時に、制限付一般競争入札にも参加できないこととなる。

委員： 成績が悪くても市として工事の引取はするのか。

事務局： 検査に合格していない状態なので、検査に合格できるレベルまで手直ししてもらい、手直し後に引取する。

委員： 工事成績が不良で指名停止になることはめったにないのではないか。

事務局： 過去においてそう多くはない。

(6) 低入札価格調査

平成28年1月1日から平成28年6月30日までに行った低入札価格調査
について事務局から報告

【主な質問・意見】

特になし

(7) 苦情処理要綱に基づく苦情処理

苦情処理案件及び再苦情処理案件について、事務局から報告（苦情処理案件
なし。再苦情処理案件なし。）

【主な質問・意見】

特になし

5 その他

(1) 次回会議の審議対象工事の抽出委員について

井上委員に決定。

(2) 次回の定例会議の開催について

次回の定例会議は、平成29年2月に開催することに決定。